

第12回

バナナ・果物 消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2016年7月
(8月7日はバナナの日)

目次

調査概要	2
-------------------	---

調査結果

よく食べる果物	3
果物を食べる頻度	3
バナナを食べることが多いタイミング	4
朝食に食べるもの	4
バナナを食べる頻度	5
この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由	5
バナナを食べる理由	6
知られているバナナの栄養素	6
知られているバナナの効果・効能	7
気になるバナナの効果・効能	7
知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能	8
バナナを買うときの基準	8

統計資料	9
-------------------	---

調査概要

●調査目的

本年度12回目の調査となる『バナナ・果物消費動向調査』では、例年に引き続き、バナナの食用実態や購入実態の把握を目的とするとともに、バナナの栄養素や効果・効能に対する一般消費者の認知についても調べました。

●サマリー

バナナは12年連続よく食べる果物で1位となりました。

バナナの栄養素としては、昨年から若干順位が変動しているものの、引き続き「糖質」「食物繊維」「カリウム」などの認知度が高く、気になるバナナの効果・効能としては、「免疫力を高める」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」「豊富な食物繊維により消化を助ける」などが上位を維持しています。

●調査対象：全国16歳以上の男女

●調査時期：2016年6月28日（火）～ 2016年6月29日（水）

●調査方法：インターネット

●属性割付：

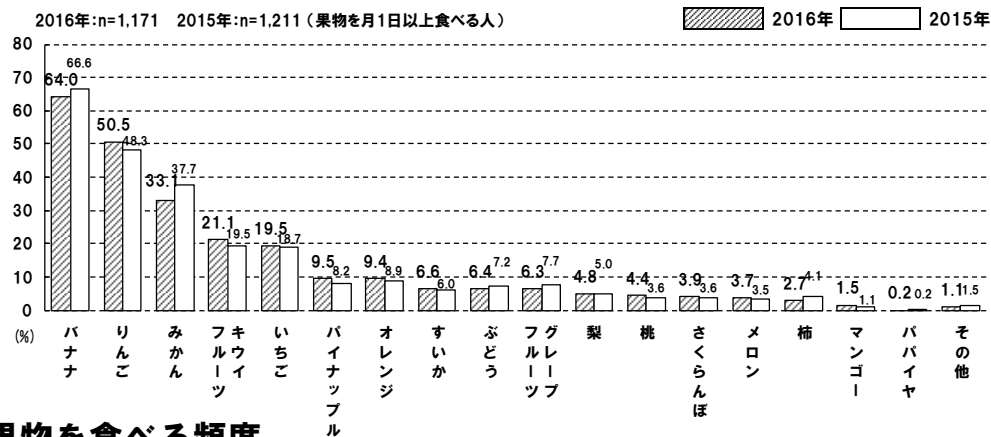
		人数
合計		1,442
性別	男	721
	女	721
性別×年齢層	男-10代	103
	男-20代	103
	男-30代	103
	男-40代	103
	男-50代	103
	男-60代	103
	男-70歳以上	103
	女-10代	103
	女-20代	103
	女-30代	103
	女-40代	103
	女-50代	103
	女-60代	103
	女-70歳以上	103

よく食べる果物

「バナナ」…約64%、「りんご」…約51%、「みかん」…約33%

バナナは回答者の6割以上がよく食べる果物として挙げており、12年連続、よく食べる果物の1位です。

Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(複数回答/3つまで)



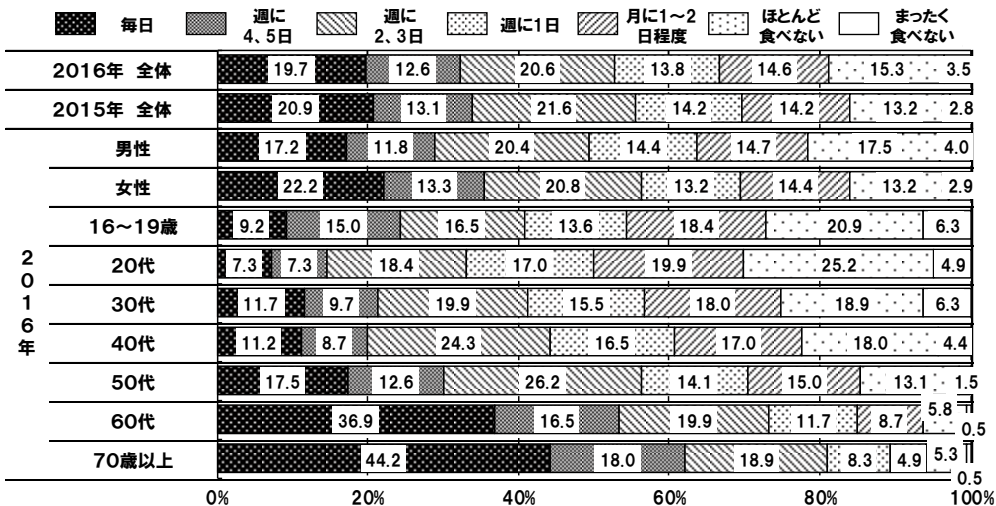
果物を食べる頻度

「毎日」が約20%、「週4、5日」が約13%で、全体の約3分の1が「週に4、5日以上」果物を食べています。

「毎日」果物を食べる人は、男性よりも女性が多く、また、年齢が高くなるほど増える傾向がみられます。

Q. あなたはどのくらいの頻度で果物を食べますか。(単一回答)

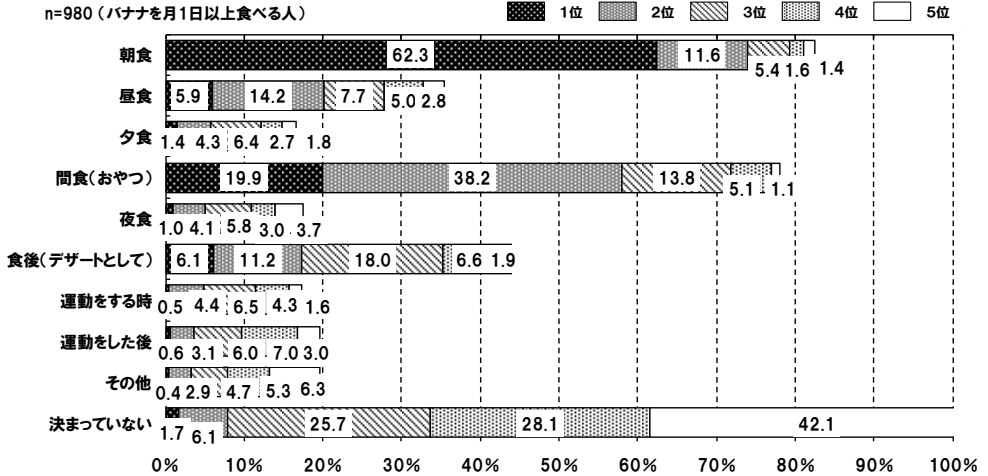
n=1,442 (全員回答)



バナナを食べることが多いタイミング

バナナを食べるタイミングの1位をみると、「朝食」が約62%と極めて高く、次いで、「間食(おやつ)」が約20%となっています。

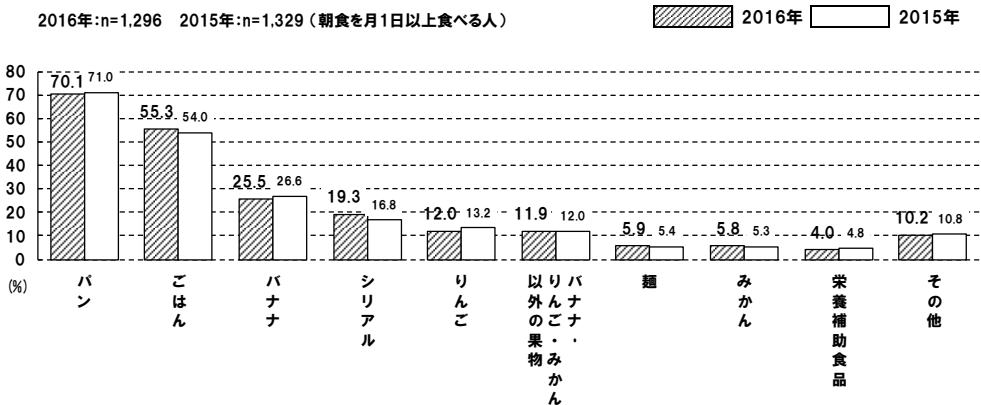
Q. あなたはバナナをいつ食べる人が多いですか。(食べる人が多い順に5位まで)(各単一回答)



朝食に食べるもの

「パン」が約70%で最も高く、以下、「ごはん」約55%、「バナナ」約26%と続いています。時系列でみると、2016年度は、2015年度と比べて「パン」「バナナ」「ごはん」の割合がほぼ横這いで推移し、「シリアル」の割合はやや増加しています。

Q. あなたは朝食にどんなものを食べますか。(複数回答)

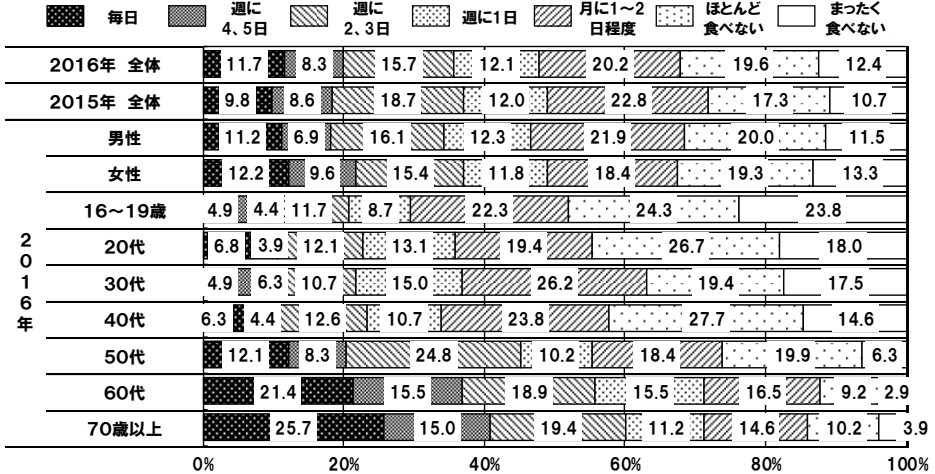


バナナを食べる頻度

「月1～2日程度」が約20%と最も多く、「ほとんど食べない」が僅差で続いています。60代以上では約7割がバナナを「週1日」以上食べていると回答しています。

Q. あなたはどのくらいの頻度でバナナを食べていますか。(単一回答)

n=1,442 (全員回答)



この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由

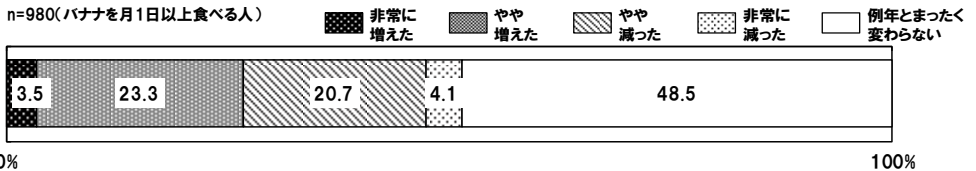
「非常に増えた」「やや増えた」をあわせて約27%、「やや減った」「非常に減った」をあわせて約25%でした。増減理由の傾向は下記の通りで、“価格が高い”ことや“他の果物の喫食”が減少の一因となっています。

Q. この一年で、あなたのバナナを食べる頻度(量)はどのように変化しましたか。(単一回答)

Q. この一年で、あなたがバナナを食べる頻度(量)が変化した理由をお書きください。(自由回答)

■ 増減

n=980(バナナを月1日以上食べる人)



■ 増減理由の傾向 (自由回答を整理)

非常に増えた理由(34名)	やや増えた理由(228名)	やや減った理由(203名)	非常に減った理由(40名)
<ul style="list-style-type: none"> ・子供が食べるため ・栄養価が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格が安い、安定している ・子供が食べるため、子供が好きなため ・健康に良い ・朝食としての喫食 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格が高い、高騰 ・他の果物を食べるため ・飽きた ・買わなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格が高い、高騰

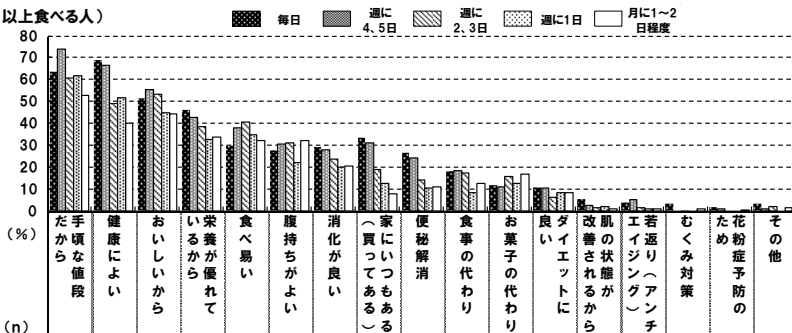
バナナを食べる理由

「手頃な値段だから」が約61%でトップ。以下、「健康によい」約52%、「おいしいから」約49%などが上位に挙げられています。

「健康によい」や「栄養が優れているから」「消化が良い」「家にいつもある」「便秘解消」などは、バナナを食べる頻度が高くなるほど増えています。

Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答)

n=980(バナナを月1日以上食べる人)



(n)	毎日	週に4,5日	週に2,3日	週に1日	月に1~2日程度
2016年 全体	980	60.6	52.3	49.0	37.9
2015年 全体	1,037	63.7	52.6	49.0	44.1
2016年 バナナを 食べる 頻度	毎日	169	63.3	68.6	51.5
	週に4,5日	119	73.9	66.4	55.5
	週に2,3日	227	60.8	48.9	53.3
	週に1日	174	61.5	51.7	44.8
	月に1~2日程度	291	52.9	40.2	44.0

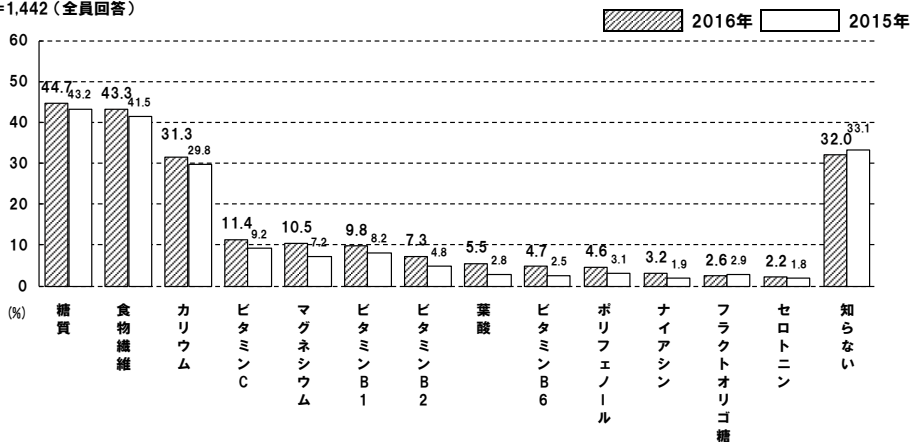
知られているバナナの栄養素

「糖質」が約45%で最も多く、次いで「食物繊維」が約43%、「カリウム」が約31%となっています。

時系列でみると、2016年度は2015年度と比べ、全体的に認知度の増加が見られます。

Q. あなたが知っているバナナの栄養素をお選びください。(複数回答)

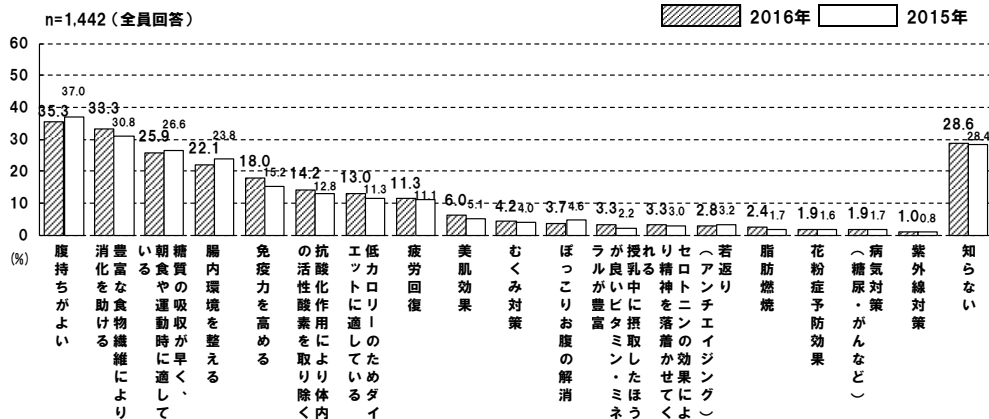
n=1,442(全員回答)



知られているバナナの効果・効能

「腹持ちがよい」約35%、「豊富な食物繊維により消化を助ける」約33%、「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」約26%、「腸内環境を整える」約22%などが上位です。その他の効果・効能はいずれも2割を下回っています。なお、「豊富な食物繊維により消化を助ける」や「免疫力を高める」「低カロリーのためダイエットに適している」などは2015年から増加が目立ちます。

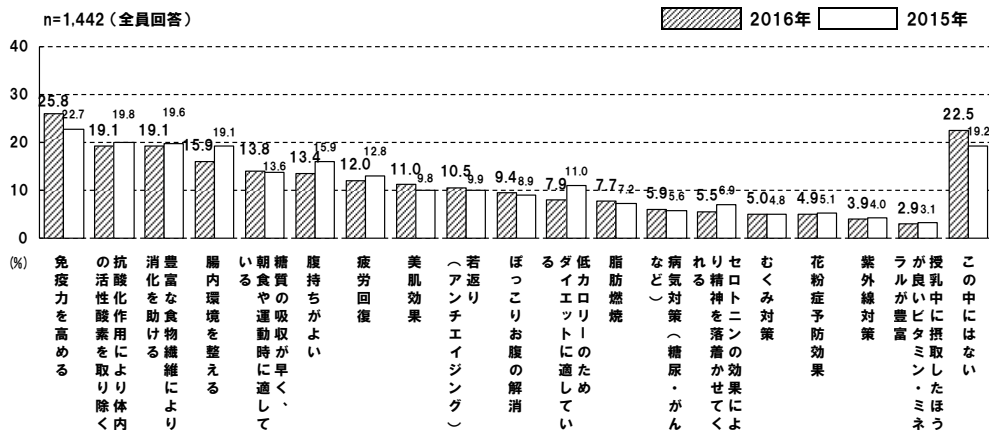
Q. あなたが知っているバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答)



気になるバナナの効果・効能

「免疫力を高める」が約26%でトップ。次いで、「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」「豊富な食物繊維により消化を助ける」がいずれも約19%で、上位に挙がっています。

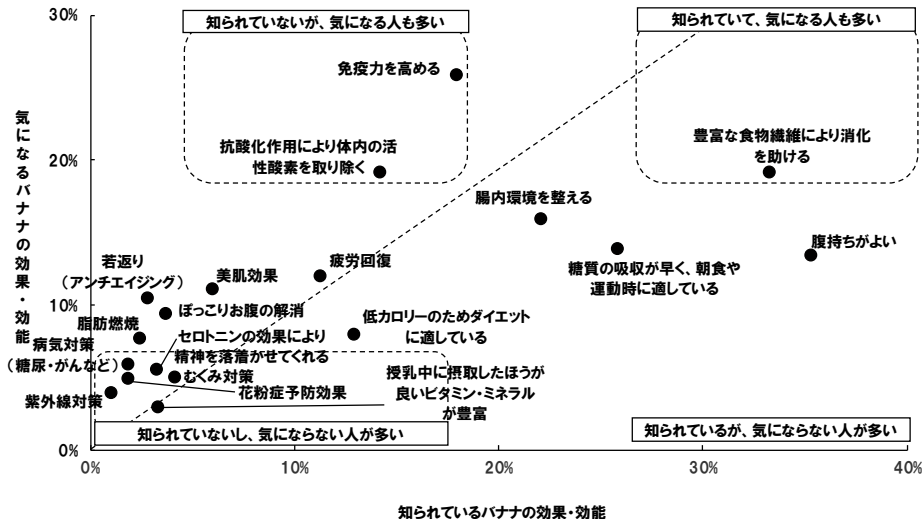
Q. 以下の中から、あなたが気になるバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能

下の図は、バナナの効果・効能について、知られているものと気になるものの割合の関係を示したものです。

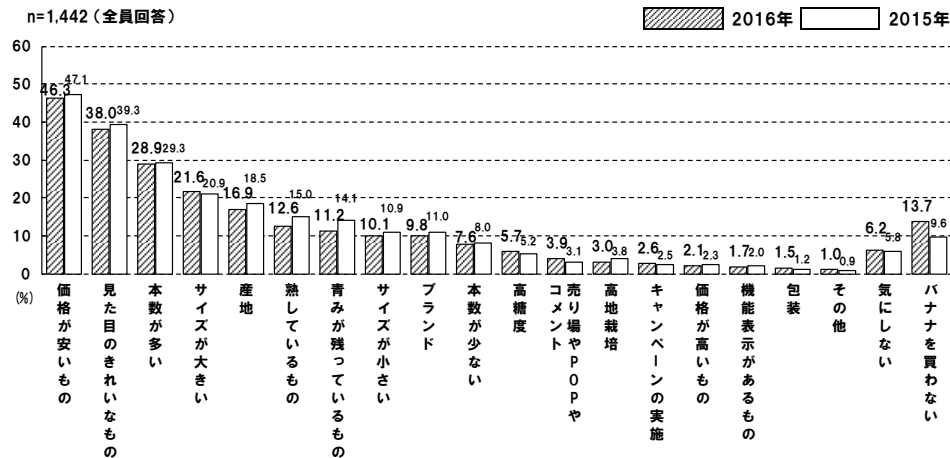
『知られていないが、気になる人が多い』効果・効能としては、「免疫力向上」「抗酸化作用」が挙げられます。



バナナを買うときの基準

「価格が安いもの」が約46%で最も高く、以下、「見た目がきれいなもの」約38%、「本数が多い」約29%、「サイズが大きい」約22%が続いています。

Q. あなたがバナナを買う時の基準をお選びください。(複数回答)

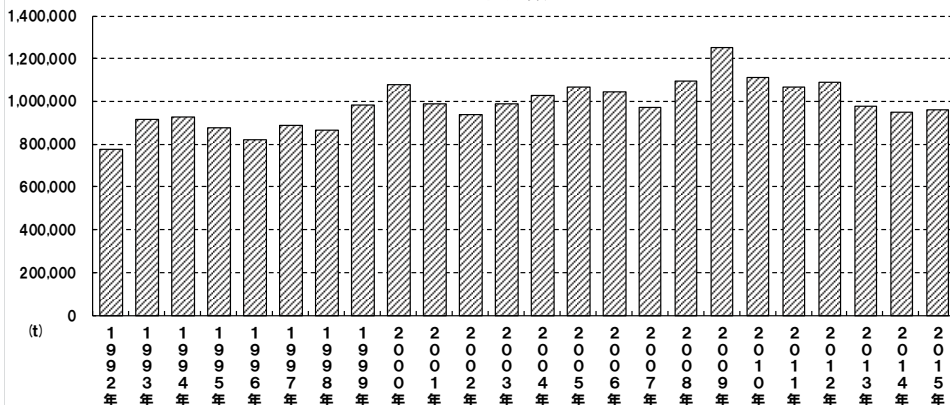


統計資料(財務省貿易統計・総務省統計局家計調査より)

財務省貿易統計

財務省貿易統計のデータによると、2015年のバナナ輸入数量は約96万トンでした。前年に比べ微増となっているものの、輸入量は3年連続100万トンを割る水準となっています。

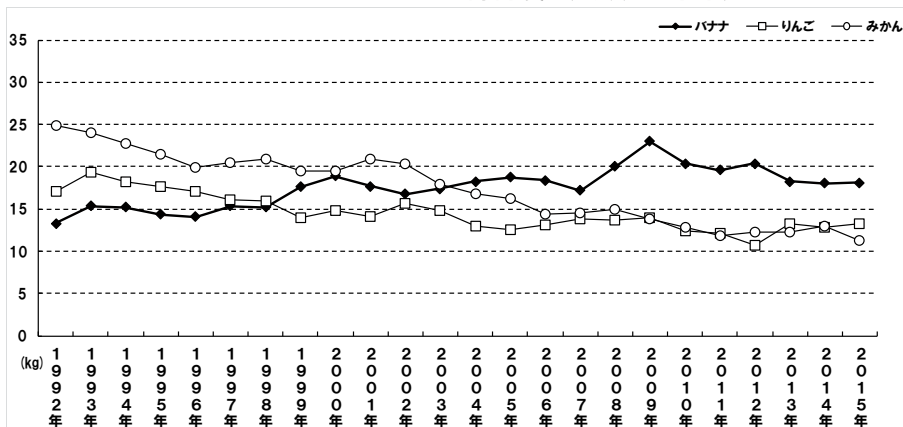
輸入数量



総務省統計局家計調査(世帯区分:2人以上の世帯)

果物の中で、バナナは年間消費量首位の座にありますが、2015年の年間消費量は約18.1kgで、2013年に20kgを下回って以降、横ばいで推移します。他の果物ではりんごは微増でしたが、みかんは減少となっています。かつては、みかんがりんごを上回っていましたが、2015年で消費量は、りんごがみかんを超えるようになりました。

バナナ・リンゴ・みかんの年間消費量(2人以上の世帯)



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田1-3-1 トーハン第三ビル

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室

TEL03-5577-4765

受付時間 午前9時-午後4時

バナナ大学ホームページ <http://www.banana.co.jp>